

社団法人日本補綴歯科学会 平成 18 年度事業報告書

1. 目的（定款第 4 条）

社団法人日本補綴歯科学会は、高い公益性をもち、社会のニーズに応えるため、歯科補綴学に関する学理及びその応用についての研究発表、知識の交換、会員相互及び内外の関連学会との連携協力等を行うことにより、歯科補綴学の進歩普及を図ると共にわが国の学術の発展に寄与し、もって国民の健康福祉の向上に貢献することを目的として、以下の事業を実施した。

2. 学術大会、講演会等の開催（定款第 5 条 1 項）

(1) 第 115 回学術大会

1. 日時：平成 18 年 7 月 8 日（土）、9 日（日）
2. 場所：札幌コンベンションセンターSORA
3. 大会長：平井敏博教授（北医療大）
4. メインテーマ：「咬合・咀嚼が創る健康長寿」
5. 特別講演：「先端医療と生命倫理」
 - ① 座長：赤川安正（広大・理事長）
 - ② 講師：松田一郎（北医療大・学長）
6. 海外招待講演Ⅰ：「Prosthodontics and orofacial pain: implications for management」
 - ① 座長：皆木 省吾（岡大）
 - ② 講師：Peter Svensson（University of Aarhus, Royal Dental College）
7. 海外招待講演Ⅱ：「Biomechanical and epidemiological consideration of implant supported overdenture」
 - ① 座長：古谷野 潔（九大）
 - ② 講師：Regina Mericske-Stern（University of Bern）
8. ジョイントシンポジウム：「補綴歯科は嚥下障害にどう関わるか？」（日本顎口腔機能学会・日本顎顔面補綴学会共催）
 - ① 座長：谷口 尚（医歯大）
 - ② 講師：熊倉 勇美（川崎医療福祉大）
山田 好秋（新大）
吉田 光由（広大）
小野 高裕（阪大）
9. シンポジウムⅠ：「時間軸から見たリスクファクターと補綴歯科治療」

- ① 座長：武田 孝之（東京支部）
 - ② 講師：齊藤 純一（山形県）
鈴木 尚（東京支部）
武田 孝之（東京支部）
矢谷 博文（阪大）
10. シンポジウムⅡ：「メタルフリー補綴歯科治療の最前線」
- ① 座長：三浦 宏之（医歯大）
 - ② 講師：三浦 宏之（医歯大）
高橋 英登（東京支部）
舞田 健夫（北医療大）
中村 隆志（阪大）
11. シンポジウムⅢ：「歯科補綴学教育における模型実習の現状と今後」
- ① 座長：馬場 一美（医歯大）
 - ② 講師：越野 寿（北医療大）
原 哲也（岡大）
北條 了（神歯大）
小川 匠（鶴見大）
12. 研究セミナーⅠ：「歯科補綴学の統計学：応用編」
- ① 座長：田上 直美（長大）
 - ② 講師：田上 直美（長大）
横山 徹爾（国立保健医療科学院）
13. 研究セミナーⅡ：「PRPスキルアップセミナー」
- ① 座長：松村 英雄（日大）
 - ② 講師：細川 隆司（九歯大）
菊池 雅彦（東北大）
14. 研究セミナーⅢ：「クリニカルパスと症型分類 その2 ー補綴歯科治療の難易度を決定するー」
- ① 座長：市川 哲雄（徳大）
 - ② 講師：窪木 拓男（岡大）
 - ③ 追加発言：秀島 雅之（医歯大）
佐藤 裕二（昭和大）
和気 裕之（西関東支部）
15. 臨床スキルアップセミナーⅠ：「部分床義歯補綴治療を成功させるために」
- ① 座長：築山 能大（九大）
 - ② 講師：加藤 一誠（松歯大）

河野 文昭 (徳大)

山森 徹雄 (奥羽大)

16. 臨床スキルアップセミナーⅡ：「支台歯形成の科学」

① 座長：田中 卓男 (鹿大)

② 講師：内山 洋一 (北医療大)

17. 歯科技工士セッションⅠ：「補綴装置を製作・加工する技術 ー手作業から CAD/CAM システムまでー」

① 座長：末瀬 一彦 (大歯大)

② 講師：宮崎 隆 (昭和大)

塩沢 育己 (医歯大)

末瀬 一彦 (大歯大)

18. 歯科技工士セッションⅡ：「歯科診療を支える歯科技工技術 (テーブルクリニック)」

① 座長：末瀬 一彦 (大歯大)

② 講師：山賀 英司 (東北・北海道支部)

山地 康之 (中国・四国支部)

清水 崇 (東北・北海道支部)

19. 歯科衛生士セッション：「要介護者の口腔ケアと補綴歯科臨床 ー医療と介護の連携時代に必要な知識ー」

① 座長：森戸 光彦 (鶴見大)

② 講師：森戸 光彦 (鶴見大)

富樫 七苗 (東北・北海道支部)

宮腰ゆき子 (東北・北海道支部)

山口 聡 (東北・北海道支部)

20. 専門医研修会：「補綴装置に付与すべき咬合接触 ー一部分床義歯についてー」

① 座長：横山 敦郎 (北大)

② 講師：阿部 實 (鶴見大)

宮地 建夫 (東京支部)

21. 演題数：204 題

課題口演 42 題、一般口演 44 題、ポスター発表 118 題 (うち国際 4 題)

22. 参加者数：2,700 名

(2) 支部学術大会

1. 東北・北海道支部

① 日時：平成 18 年 10 月 28 日 (土)、29 日 (日)

- ② 場所：山形国際交流プラザ（山形市）
- ③ テーマ：「補綴治療の長期経過－臨床と文献から学ぶ－」
- ④ 大会長：佐々木啓一（東北大）
- ⑤ 共催：社団法人山形県歯科医師会
- ⑥ 特別講演：「パーシャル・デンチャーの臨床から－過去の遺物と考えるのか－」
講師：菅野 博康（すがの歯科医院）

2. 関越支部

- ① 日時：平成 18 年 10 月 21 日（土）
- ② 場所：新潟県歯科医師会館（新潟市）
- ③ 大会長：松崎 正樹（新潟県歯科医師会常務理事）
- ④ 主管：小林 博（新大）
- ⑤ 共催：（社）新潟県歯科医師会

3. 東関東支部

- ① 日時：平成 19 年 2 月 25 日（日）
- ② 場所：ラフレさいたま（さいたま市）
- ③ 大会長：大川 周治（明海大）
- ④ 後援：埼玉県歯科医師会

4. 東京支部

- ① 日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）
- ② 場所：昭和大学上條講堂
- ③ 大会長：佐藤 裕二（昭和大）
- ④ 後援：（社）東京都歯科医師会
- ⑤ 特別講演：「プロフェッショナルの流儀－オリコン No1 歯科医院のコンセプト－」
講師：村岡 正弘（東京都開業）

5. 西関東支部

- ① 日時：平成 19 年 1 月 21 日（日）
- ② 場所：神奈川県歯科医師会館
- ③ 大会長：豊田 實（神歯大）
- ④ 共催：神奈川県歯科医師会
- ⑤ 教育講演：「予防歯科時代における患者対応」
講師：隈元 孝子（歯科衛生士・白水貿易株式会社）

6. 東海支部

- ① 日時：平成 18 年 11 月 18 日（土）、19（日）
- ② 場所：愛知県歯科医師会館

- ③ 大会長：宮村 一弘（愛知県歯科医師会会長）
- ④ 共催：(社) 愛知県歯科医師会
- ⑤ 特別講演：「からくり人形の匠に学ぶ」
講師：末松 良一（豊田工業高等専門学校校長、名古屋大学名誉教授）、からくり人形師九代目 玉屋 庄兵衛

7. 関西支部

- ① 日時：平成 19 年 1 月 28 日（日）
- ② 場所：奈良県歯科医師会館
- ③ 大会長：江藤 隆徳（大歯大）
- ④ 後援：(社) 奈良県歯科医師会

8. 中国・四国支部

- ① 日時：平成 18 年 9 月 2 日（土）、3 日（日）
- ② 場所：松山市総合コミュニティセンター
- ③ 大会長：猪野恵一郎（松山市歯科医師会）
- ④ 主管：皆木 省吾（岡大）

9. 九州支部

- ① 日時：平成 18 年 10 月 22 日（日）
- ② 場所：鹿児島大学鶴稜会館
- ③ 大会長：田中 卓男（鹿大）

3. 学会誌その他の刊行物の発行（定款第 5 条 2 項）

- (1) 日本補綴歯科学会雑誌：4 回発行
第 50 巻 2 号～5 号，第 51 巻 1 号
- (2) Prosthodontic Research and Practice（PRP、英文誌）：4 回発行
Vol. 5, No. 2～4、Vol. 6, No. 1
- (3) 大会抄録集：1 回発行
日本補綴歯科学会雑誌 第 50 巻 第 115 回特別号
- (4) 会員向けニュースレター（Letter for Members）を 4 回（No. 21, 22, 23, 24）発行した。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 5 条 3 項）

- (1) 学会優秀論文賞
 - ① 学会論文賞
 - 1. 大山喬史（医歯大）
 - ② 特定推進研究優秀論文賞
 - 1. 松実珠千（北医療大）

- 2. 武部 純 (岩手医大)
- ③ 中堅優秀論文賞
 - 1. 小山重人 (東北大)
 - 2. 藤澤政紀 (岩手医大)
- ④ 奨励論文賞
 - 1. 青木宏道 (神歯大)
 - 2. 赤坂恭一朗 (昭和大)
 - 3. 安藤栄里子 (鶴見大)
 - 4. 大塚真範 (東京支部)
 - 5. 荻野洋一郎 (九大)
- (2) 学会特別功労賞
 - 1. 大山喬史
 - 2. 懸田利孝
 - 3. 真柳昭紘
- (3) デンツプライ賞
 - 1. 大貫昌理 (鶴見大)
 - 2. 大柁貴俊 (鶴見大)
 - 3. 高橋敏幸 (北大)
 - 4. 藤井芳仁 (新大)
 - 5. 瀧田史子 (朝日大)
 - 6. 伊藤加代子 (新大)
- (4) 課題講演コンペティション優秀賞
 - 1. 栢山智博 (阪大)
 - 2. 原田武洋 (九大)
 - 3. 藤澤政紀 (岩手医大)
 - 4. 花田俊士 (岡大)
 - 5. 市田文孝 (阪大)
 - 6. 野地美代子 (東北大)

5. 認定医・専門医の育成 (定款第4条)

(1) 専門医制度

平成17年8月7日から専門医制度に移行し、専門医1,101名(うち指導医696名)、認定医138名(うち指導医10名)である。指定研修施設93か所が認定されている(平成19年3月31日現在)。

なお、平成17年8月8日に施行された日本補綴歯科学会専門医制度について、日本歯科医学会認定医・専門医制協議会での審議を経て、日本歯科医学会で「補

綴歯科専門医」を可とする決定を得た後、平成 18 年 1 月 24 日厚生労働省に正式に申請済である。

(2) 認定事業

第 1 回認定審議会（平成 18 年 4 月 21 日）において、新規認定医 30 名、認定医の更新 86 名を認定し、更に、専門医への切り替え 8 名を認定した。新規指導医申請 17 名について適格であると認定した。認定研修機関の新規申請について、(甲) 3 機関について適格であると認定した。認定研修機関の更新申請について、(乙) 1 機関を認定した。

第 2 回認定審議会（平成 18 年 9 月 15 日）において、初めての専門医の審査が開始され、新規専門医 7 名、専門医の更新 29 名を認定し、更に、専門医への切り替え 4 名を認定した。新規指導医申請 13 名について適格であると認定した。認定研修機関の新規申請について、(乙) 1 機関について適格であると認定した。認定研修機関の更新申請について、(乙) 4 機関を認定した。

(3) 専門医申請ケースプレゼンテーション：31 題

（第 115 回大会 6 題、東北・北海道支部学術大会 1 題、東関東支部学術大会 6 題、東京支部学術大会 5 題、西関東支部学術大会 5 題、東海支部学術大会 4 題、中国・四国支部学術大会 2 題、九州支部学術大会 2 題）

(4) 認定医症例論文

認定医症例報告論文の 25 編、専門医症例報告論文の 3 編が査読対象となった。

(5) 平成 18 年度第 1 回専門医研修会の開催

第 115 回学術大会（平井敏博 大会長）との併催で、平成 18 年 7 月 9 日に開催した。専門医申請ケースプレゼンテーション（6 名）および専門医研修「補綴装置に付与する咬合接触一部分床義歯について」が行われた（座長：横山敦郎（北大）、講師：阿部 實（鶴見大）、宮地建夫（東京都））。当日の認定研修カード提出者は 863 名と、大盛況であった。

(6) ケースプレゼンテーション審査結果報告書の改訂

ケースプレゼンテーションの審査をより厳密に、かつ客観的に実施するために審査結果報告書（様式 11）の評価項目、評価基準の改正を行い、ホームページでの公開ならびに補綴誌 49 巻 4 号巻頭に掲載した。

(7) 専門医申請書類の一部改正

- ① ケースプレゼンテーション申請書(様式 9)
- ② ケースプレゼンテーション申請時チェックリスト(様式 9-2)
- ③ ケースプレゼンテーション審査結果報告書(様式 11)
- ④ 歯科補綴学に関連する領域の疾患の診断及び治療記録 3 年以上経過観察を行った症例（様式 7）
- ⑤ 歯科補綴学に関連する領域の疾患の診断及び治療記録治療を修了した症例

(様式 8)

(8) 専門医更新に関する暫定的措置について

専門医への更新に必要な単位の増加（認定医の場合より 10 単位）に伴う暫定的措置を検討し、申し合わせを作成した（補綴誌 50(3)の巻頭に会告）。

(9) 専門医ケースプレゼンテーションの審査基準について学会ホームページに公表した。

6. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第 5 条 4 項）

① 日本歯科医学会

1. 理事：赤川安正
2. 評議員：平井敏博、井上 宏、矢谷博文
3. 予備評議員：志賀 博、五十嵐順正、清野和夫
4. 歯科学術用語委員会委員：五十嵐順正
5. 学術研究委員会委員：佐々木啓一

② 日本顎口腔機能学会および日本顎顔面補綴学会との共催シンポジウムの開催（第 115 回学術大会 大会長 平井 敏博（北医療大））

1. 「補綴歯科は嚥下障害にどう関わるか？」
2. 座長：谷口 尚（医歯大）
3. 講師：熊倉 勇美（川崎医療福祉大）
山田 好秋（新大）
吉田 光由（広大）
小野 高裕（阪大）

③ 日本歯科技工学会との共催（第 115 回学術大会 大会長 平井 敏博（北医療大））

1. 歯科技工士セッション 1：「補綴装置を製作・加工する技術 一手作業から CAD/CAM システムまで」
2. 座長：末瀬 一彦（大歯大）
3. 講師：宮崎 隆（昭和大）
塩沢 育己（医歯大）
末瀬 一彦（大歯大）

7. 国際的な研究協力の推進（定款第 5 条 5 項）

海外の補綴歯科学会および関連学会との交流の促進、活動状況の会員への広報などを行った。

(1) International College of Prosthodontists(ICP)について

第 12 回学術大会が 2007 年 9 月 5～8 日に福岡にて開催される。JPS 会員は、

ICP 会員資格で参加可能との優待条件が提示されている。

(2) アジア補綴学会(Asian Academy of Prosthodontics ; AAP)

第 5 回学術大会は、第 116 回日本補綴歯科学会学術大会（大会長：井上 宏大阪歯科大学教授）と併催で 2007 年 5 月 18 日（金）-20 日（日）の日程で神戸（ポートピアホール：神戸市中央区港島中町）にて開催される。

(3) 大韓補綴学会（Korean Academy of Prosthodontics ; KAP）

第 4 回の Joint meeting を 2008 年の第 117 回日本補綴歯科学会学術大会（大会長 田中貴信先生）にて開催予定。

(4) Greater New York Academy of Prosthodontics(GNYAP)との joint meeting について

2007 年 10 月 20 日（土）、21 日（日）に、TFT ホール（東京都江東区有明 3 丁目 1 番）にて開催予定（大会長 赤川安正前理事長）

(5) Chinese Prosthodontics Society (CPS)との交流について

2006 年 8 月 5 日に、中国四川省成都市において、学術交流協定が締結された。

(6) Indian Prosthodontic Society (IPS)との交流について

2007 年 3 月 28 日に、インド Chennai において、学術交流協定が締結された。

(7) International Association for Dental Research との連携

2007 年 3 月 21 日～24 日に New Orleans で開催された第 85 回 IADR において、日本補綴歯科学会と IADR Prosthodontic Research Group の協賛による Joint Symposium “Molecular and Nano-design of Dental Implants” が開催された。また、新たな賞として、同じく協賛で”IADR Prosthodontics Research Group Pre-Prosthetic Regenerative Science Award for Young Investigators” が設定され、第 1 回の受賞者 3 名のうち 2 名が本学会会員であった。

8. 歯科医療の向上の推進（定款第 5 条 6 項）

(1) 生涯学習公開セミナーの開催

1. 東北・北海道支部（支部学術大会併催）

- ① 日時：平成 18 年 10 月 29 日（日）
- ② 場所：山形国際交流プラザ（山形市）
- ③ テーマ：「補綴治療の長期経過 ―臨床と文献から学ぶ―」
- ④ 座長：横山敦郎（北大）
鈴木 基（東北・北海道支部）
- ⑤ 講師：鈴木 哲也（岩手医大）「FD の視点から」
大畑 昇（北大）「Cr-Br の視点から」
佐々木啓一（東北大）「PD の視点から」

2. 関越支部（支部学術大会併催）

- ① 日時：平成 18 年 10 月 21 日（土）
 - ② 場所：新潟県歯科医師会館（新潟市）
 - ③ テーマ：歯科補綴環境の安全管理
 - ④ 座長：小林 博（新大）
 - ⑤ 講師：田中 茂（十文字学園女子大学人間生活学部、非会員）
高木 律男（新大、非会員）
3. 東関東支部（支部学術大会併催）
- ① 日時：平成 19 年 2 月 25 日（日）
 - ② 場所：ラフレさいたま（さいたま市）
 - ③ テーマ 1:有床義歯補綴臨床の確実性向上を目指して—Synthetic Denture 法の概要—
 - ④ 座長：櫻井 薫（東歯大）
 - ⑤ 講師：岡根 秀明（明海大）
 - ⑥ テーマ 2:垂直歯根破折から考えるファイバーポストコンポジットレジンコアの問題点」
 - ⑦ 講師：田端 義雄（明海大）
4. 東京支部（支部学術大会併催）
- ① 日時：平成 18 年 11 月 11 日（土）
 - ② 場所：昭和大学上條講堂（東京都品川区）
 - ③ テーマ：あなたの補綴診療システムは「超高齢社会」に対応できるか
 - ④ 座長：北川 昇（昭和大）
 - ⑤ 講師：馬見塚賢一郎（東京支部）
高橋 浩二（昭和大、非会員）
5. 西関東支部（支部学術大会併催）
- ① 日時：平成 19 年 1 月 21 日（日）
 - ② 場所：神奈川県歯科医師会館（横浜市）
 - ③ テーマ：少数歯欠損への対応—ディジションメイキングのつぼ—
 - ④ 座長：豊田 實（神歯大）
 - ⑤ 講師：宮地 健夫（東京都）
山森 徹雄（奥羽大）
6. 関西支部（支部学術大会併催）
- ① 日時：平成 19 年 1 月 28 日（日）
 - ② 場所：奈良県歯科医師会館
 - ③ テーマ：全部床義歯難症例を見極める

- ④ 座長：小正 裕（大歯大）
- ⑤ 講師：小出 馨（日歯大新潟）
鈴木 哲也（岩手医大）

7. 中国・四国支部（支部学術大会併催）

- ① 日時：平成 18 年 9 月 3 日（日）
- ② 場所：松山市総合コミュニティセンター（松山市）
- ③ テーマ：欠損歯列の「症型分類」と難易度評価ー補綴治療で何が難しいか、頭の中は整理できていますかー
- ④ 座長：河野 文昭（徳大）
- ⑤ 講師：市川 哲雄（徳大）

8. 九州支部

- ① 開催日時：平成 18 年 9 月 10 日（日曜日）10:00～16:00
- ② 開催場所：長崎県歯科医師会館（長崎市）
- ③ テーマ：よくわかるチェックバイトとゴシックアーチ
- ④ 座長：国松 仁志（九州支部）
- ⑤ 講師：古谷野 潔（九大）

(2) 学術講演会

1. 関越支部学術講演会

- ① 共催：栃木県歯科医師会
- ② 日時：平成 19 年 3 月 18 日（日）
- ③ 場所：栃木県日光市
- ④ テーマ：「患者さんが満足してくれる有床義歯の臨床ー噛める義歯のポイントー」
- ⑤ 講師：小出 馨（日歯大新潟）

9. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条 7 項）

(1) 市民フォーラムの開催：平成 18 年度は 13 回開催し、計約 1,500 名を動員した。

1. 第 31 回福岡市民の歯を守る集い「福岡市民フォーラム」（支部長 田中卓夫）

- ① 日時：平成 18 年 6 月 4 日（日）
- ② 会場：福岡県歯科医師会館 5 F 視聴覚室
- ③ 主催：福岡歯科医師会，福岡市教育委員会，福岡市健康作り財団
- ④ 共催：（社）日本補綴歯科学会，（社）日本歯科衛生士会，（社）日本歯科技工士会，九州大学，福岡歯科大学
- ⑤ 講師：貞森 紳丞（広大）
- ⑥ テーマ：「口腔ケアー高齢者の生活向上ー」

- ⑦ 参加者：110名（アンケート実施）
2. 第115回日本補綴歯科学会学術大会市民フォーラム（大会長 平井敏博）
- ① 日時：平成18年7月9日（日）
 - ② 会場：サッポロファクトリーアトリウム
 - ③ 主催：（社）日本補綴歯科学会
 - ④ 共催：北海道医療大学
 - ⑤ 後援：札幌市，札幌歯科医師会
 - ⑥ テーマ：「歯ってさ・・・」
 - ⑦ 司会：沖本 公繪（九大）
 - ⑧ 講師：佐藤 裕二（昭和大）
古家 正亨（FM ノースウェイブ DJ）
小野 塚勝（北海道テレビ放送 HTB 解説者）
患者代表 2名
越智 守生 社会連携委員（北医療大）
3. 千葉市民文化大学講座1（支部長 大川周治）
- ① 日時：平成18年7月12日（水）
 - ② 会場：千葉市文化センター
 - ③ 主催：千葉市・（財）千葉市文化振興財団
 - ④ 後援：（社）日本補綴歯科学会
 - ⑤ テーマ：健康医学科「歯と身体の健康」
 - ⑥ 講師：佐藤 亨（東歯大）
 - ⑦ 受講者：千葉市民（健康医学科定員128名）
4. 千葉市民文化大学講座2（支部長 大川周治）
- ① 日時：平成18年7月19日（水）
 - ② 会場：千葉市文化センター
 - ③ 主催：千葉市・（財）千葉市文化振興財団
 - ④ 後援：（社）日本補綴歯科学会
 - ⑤ テーマ：健康医学科「噛み合わせの大切さ ー入れ歯の役割ー」
 - ⑥ 講師：大川 周治（明海大）
 - ⑦ 受講者：千葉市民（健康医学科定員128名）
5. 中国・四国支部学術大会 市民フォーラム（支部長 中尾勝彦）
- ① 日時：平成18年9月3日（金）
 - ② 会場：松山市総合コミュニティセンター研修会議室
 - ③ 主催：（社）日本補綴歯科学会
 - ④ 後援：愛媛県・松山市・（社）愛媛県歯科医師会・（社）松山市歯科医師会

- ⑤ テーマ： 口元の美しさを探る
 - ⑥ 座長：坂東 永一（徳大）
 - ⑦ 講師：白井 肇（岡大）
 - 「削らずに歯を白くするホワイトニング」
垂水 修（中国・四国支部）
 - 「侵襲の少ない治療による口腔の機能と美の追究」
上田美江子（資生堂ビューティークリエーション研究所）
 - 「口元をより美しく見せるメークアップ演出法」
 - ⑧ 参加者：100名
6. 長崎市民公開講座（支部長 田中卓夫）
- ① 日時：平成18年9月10日（日）
 - ② 会場：長崎県歯科医師会館
 - ③ 主催：（社）長崎県歯科医師・（社）日本補綴歯科学会
 - ④ テーマ：「噛む ー 健やか長寿社会へのパスポート」
 - ⑤ 講師：ブライアン・バークガフニ（長崎総合科学大学 人間環
境 学部）長崎県歯科医師会派遣講師
「スローフード運動と日本の食文化」
赤川 安正（日本補綴歯科学会理事長）日本補綴歯科学会
派遣講師
「噛んで長生き？なるほど納得、補綴（ほてつ）の話」
 - ⑥ 参加者：50名
7. 第16回一宮市高齢者大学公開講座（支部長 田中貴信）
- ① 日時：平成18年9月26日（火）
 - ② 会場：一宮市民会館
 - ③ 主催：（社）一宮歯科医師会
 - ④ 共催：（社）日本補綴歯科学会
 - ⑤ テーマ：「高齢者の口腔機能向上と介護予防」
 - ⑥ 講師：森 隆司（愛院大）
8. 東京支部市民フォーラム（支部長 石上友彦）
- ① 日時：平成18年10月28日（火）
 - ② 会場：日本大学歯学部2号館（附属歯科病院校舎）
 - ③ 主催：（社）日本補綴歯科学
 - ④ テーマ：「こんなときどうする 歯の治療 ー 補綴（ほてつ）が救
う！」
 - ⑤ 講師：棧 淑行（日大）
 - ⑥ 参加者：150名（合計）

9. 関西支部市民フォーラム（支部長 江藤隆徳）

- ① 日時：平成18年11月12日（日）
- ② 会場：奈良県歯科医師会館
- ③ 主催：（社）奈良県歯科医師会
- ④ 共催：（社）日本補綴歯科学会
- ⑤ テーマ：「歯からはじまる健康生活 美しい口もとで豊かな人生を！」
- ⑥ 講師：末瀬 一彦（大歯大）
- ⑦ 参加者：145名

10. 東海支部市民フォーラム（支部長 田中貴信）

- ① 日時：平成18年11月18日（土）
- ② 会場：愛知県歯科医師会館
- ③ 主催：（社）日本補綴歯科学会
- ④ 共催：愛知歯科医師会
- ⑤ 講師：細井 紀雄（鶴見大）
「美しい歯で、良く噛んで、若返る」
松田 秀人（名古屋文理大学短期大学部教授）
「噛む習慣はなぜ重要か」
- ⑥ 参加者：120名

11. 豊島区民健康・教育フォーラム（支部長 石上友彦）

- ① 日時：平成18年12月14日（木）
- ② 会場：豊島区民センター
- ③ 主催：豊島区歯科医師会・豊島区学校保健会学校歯科医部会
- ④ 共催：豊島区・豊島区教育委員会
- ⑤ 後援：（社）日本補綴歯科学会
- ⑥ テーマ：「食育のすすめと噛んで食べることの大切さ」
- ⑦ 講師：小泉 武夫（東京農業大学）
小林 義典（日歯大）
- ⑧ 参加者：170名

12. 東京支部市民フォーラム（支部長 石上友彦）

- ① 日時：平成19年2月10日（土）
- ② 会場：千代田区立高齢者センター
- ③ 主催：（社）日本補綴歯科学会
- ④ テーマ：「私、入れ歯の味方です。 ー入れ歯と仲良く付き合うためにー」
- ⑤ 講師：大谷 賢二（日大）

⑥ 参加者：37名

13. 東関東支部市民フォーラム（支部長 大川周治）

- ① 日時：平成19年2月25日（日）
- ② 会場：ラフレさいたま（さいたま市）
- ③ 主催：（社）日本補綴歯科学
- ④ テーマ：「健康とスポーツ —口の役割—」
- ⑤ 座長：石上 恵一（東歯大）
- ⑥ 講師：安井 利一（明海大）

- (2) 市民に対する補綴広報パンフレット【補綴歯科ってなに？】（平成18年7月、2万部発行）
- (3) ホームページ公開予定の市民向け視覚素材【補綴歯科をみてみよう】の作成（平成19年3月）
- (4) 一般向けホームページの継続的なリニューアルを行った。アクセス数は10万件を突破した。また、よくわかる補綴歯科講座の第4回～第6回分を作成した。
- (5) 国際的なPRのため「Dentistry in Japan」に学会活動に関する記事を掲載した。

10. 総会（定款第30条1項、2項）

- (1) 臨時総会：平成18年6月18日
- (2) 第1回定例総会：平成18年7月7日
- (3) 第2回定例総会：平成19年3月4日

11. 理事会（定款第27条1項）

- (1) 第1回理事会：平成18年5月28日
- (2) 第2回理事会：平成18年7月7日
- (3) 第3回理事会：平成19年3月4日

12. 委員会活動（定款第5条）

- (1) 委員長会：平成18年度に6回開催
- (2) 委員会：学術委員会、編集委員会、財務委員会、国際渉外委員会、用語検討委員会、医療問題検討委員会、会則等検討委員会、広報委員会、法人運営委員会、教育問題検討委員会、生涯学習検討委員会、認定審議会、社会連携委員会、専門医制度検討委員会、ガイドライン作成委員会、社会保険委員会、特別功労賞推薦委員会、優秀論文賞推薦委員会回を開催した。各委員会活動の概要を以下に記す。

① 学術委員会

- 1. 「2. 学術大会、講演会等の開催（1）」参照のこと
- 2. 「4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（3）、（4）」参照のこと

- ② 編集委員会
 - 1. 「3. 学会誌その他の刊行物の発行（1）～（3）」参照のこと
 - 2. オンライン投稿・査読システムの整備
- ③ 財務委員会
 - 定款第5条各校に規定する事業の財務に関わる業務を行った。
- ④ 国際渉外委員会
 - 「7. 国際的な研究協力の推進」参照のこと
- ⑤ 用語検討委員会
 - 1. 日本歯科医学会学術用語集改訂版への補綴関連用語改訂版採用に向けた働きかけを行った。
 - 2. 日本補綴歯科学会用語集のブラッシュアップ
 - 3. Wikipediaにおける「歯科補綴学」の編集
- ⑥ 医療問題検討委員会
 - 1. 症型分類のトライアルの実施
 - 2. 症型分類入力システムの作成
 - 3. 補綴治療過程における消毒の指針の策定
- ⑦ 規程検討委員会
 - 規程集の大幅な見直しを行い、配布、公開を行った。
- ⑧ 広報委員会
 - 1. 「3. 学会誌その他の刊行物の発行（4）」参照のこと
 - 2. 「9. その他目的を達成するために必要な事業（4）」参照のこと
- ⑨ 教育問題検討委員会
 - 1. 「歯科補綴学会教育基準 改訂2006」の作成（平成19年1月10日発行）
 - 2. 「ノンクラスプデンチャーおよびメタルフリー義歯」についての見解の策定（平成19年2月18日）
- ⑩ 生涯学習検討委員会
 - 「8. 歯科医療の向上の推進（1）」参照のこと
- ⑪ 認定審議会
 - 「5. 認定医・専門医の育成」参照のこと
- ⑫ 社会連携委員会
 - 「9. その他目的を達成するために必要な事業（1）～（3）」参照のこと
- ⑬ 専門医制度検討委員会
 - 1. 専門医制度規則ならびに施行細則の改正（平成18年5月28日）
 - 2. 専門医制度規則の経過措置に関する申し合わせの改正（平成18年5月28日）
 - 3. 広告開示発足時における専門医制度規則の措置に関する申し合わせの策

定（平成 19 年 3 月 4 日）

⑭ ガイドライン作成委員会

1. リラインとリベースのガイドラインの作成（平成 19 年 1 月 10 日発行）
2. 接着ブリッジのガイドラインの作成（印刷中）
3. 有床義歯補綴のガイドラインの作成（印刷中）

⑮ 社会保険委員会

1. 歯科医療技術再評価希望書の作成
 - ① レジン前装鑄造冠（臼歯部）
 - ② 支台築造（メタルコア）
 - ③ 床副子（咬合挙上副子、スプリント）
2. 歯科医療技術評価希望書の作成
 - ① ハイブリッド型レジンジャケット冠
 - ② 有床義歯を用いた顎位調整処置
 - ③ 咀嚼能力検査
 - ④ 咬合接触基本検査

⑯ 特命委員会

1. フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』への書き込み方法の検討を行った。
2. 補綴周知のキャンペーンの一環として、オズマピーアール社との提携のもと、平成 18 年 8 月 1 日と 11 月 2 日に、東京丸の内三菱ビルにて、社団法人日本補綴歯科学会のプレスセミナーを 2 回開催した。
 - ① 第 1 回プレスセミナー（8 月 1 日）
 1. 赤川理事長：「咬合・咀嚼が創る健康長寿－QOL と長寿に果たす補綴歯科治療の役割－」
 2. 佐々木学術担当理事：「金属を使用しない新たな補綴歯科治療－金属アレルギーの発症防止と自然観を求めて－」
 3. 出席メディア（出席者 20 名）
 - ② 第 2 回プレスセミナー（11 月 2 日）
 1. 平井副理事長：「義歯の装着は補綴歯科治療の始まりです！咬合・咀嚼と補綴治療後のメンテナンスの重要性」
 2. 石橋広報担当理事：「クラウンブリッジ補綴歯科治療とメンテナンス」
 3. 出席メディア（出席者 18 名、うち前回出席者 7 名）

13. 会員数（平成 19 年 3 月 31 日現在）（定款第 6 条）

- (1) 正会員 6,459 名

- (2) 準会員 48名
- (3) 法人会員 43社
- (4) 名誉会員 61名
- 会員数合計： 6,611名

14. 雑誌寄贈先

- (1) 国内 107団体
- (2) 国外 38団体